

# 母校の活躍

コロナ禍のため応援自粛の試合が多く、テレビ・ビデオ観戦などによる結果を報告します。

## ※駅伝全国大会 報告

9年連続の27回目の全国大会出場を決めた秋工駅伝チームは、2021年12月26日に京都西京極陸上競技場で実施された全国大会に臨んだ。当日は沿道での応援自粛がなされていたためにテレビで観戦した。テレビの画面上では雪が舞っていたのが見えた。雪国育ちの秋工健児の選手に雪が味方したのか、大活躍し8位の入賞には残念ながら届かなかったが、一桁の9位の立派な成績だった。特に6区(5km)を走った2年生の大野聖登選手が6人抜きで区間賞を得た。秋田勢の区間賞は1992年2区の佐藤寛人(経法大付=現明桜)の獲得以来実に29年ぶり。



【秋田工選手の成績】 <監督> 高橋正仁

▽ 1区	佐藤 宏亮 (3年)	区間順位	24位
▽ 2区	佐藤 祥樹 (3年)		5位
▽ 3区	藤本 駿世 (2年)		19位
▽ 4区	小松 聖 (2年)		22位
▽ 5区	池田 優也 (2年)		10位
▽ 6区	大野 聖登 (2年)		1位
▽ 7区	細川 優 (3年)		9位

## ※ラグビー全国大会 報告

秋工ラグビー部は2年連続で69回目の花園出場をした。しかし初戦は応援自粛のためインターネット動画で応援した。母校の全国大会は2021年12月28日に花園ラグビー場で松山聖陵高校と1回戦を対戦した。開始早々の前半4分に秋田工業がトライを決め、前半は7対0でリードして折り返します。しかし、後半開始直後、松山聖陵に立て続けに2本のトライを許し、逆転されました。結果前後半合計で12対19の接戦でおしくも初戦突破できませんでした。

また2022年3月に行われた選抜ラグビー大会で、3月25日の修猷館戦では31-10で敗戦、翌日26日は松山聖陵戦では31-19で敗退しました。



奮闘する秋工ラグー

## ※吹奏楽東北大会 報告

第50回マーチングバンド・パトントワリング東北大会が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2大会連続でビデオ審査会となり、高等学校の部には12校が参加。大会の結果としては金賞を受賞したものの、上位3校に入ることができず、2年連続での全国大会への推薦はいただけませんでした。観客の前で演奏演技する構成で、楽しんでいただけるような演出も盛り込んでいただけに大変残念な結果になりました。本校は20名での出場でしたが、他校もコロナ禍の影響か、人数を減らしている様子でした。動画での審査のため取り直しは可能であるものの、当然ながら編集はできず、持ち時間いっぱい完璧な仕上がりとはいきませんでした。現状での力は発揮することが出来たと感じています。

吹奏楽顧問 野上 浩 (本部同窓会誌第56号掲載の抜粋)

## ※高校生橋梁模型発表会で最優秀賞

高校生が土木技術を学び、模型制作を通じて橋の種類や構造などの知識を深めるとともに、20回目の2021年度の橋梁模型発表会で秋田県立秋田工業高校の「駒形橋」が最優秀賞を得た。



秋工の橋梁模型作品

主催は日本橋梁建設協会東北事務所など6団体でつくる高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会。優秀賞は青森県立弘前工業高校の「白鬚橋」と秋田県立横手清陵学院高校の「法体の滝に架かる吊り橋」が選ばれた。

## ※高校柔道全国大会 報告

2022年3月21日に日本武道館で行われた第44回全国高校柔道大会に母校秋工が団体戦に出場しました。1回戦相手 秀英つくば高校(茨城県)に残念ながら、4-0で敗退しました。

【出場選手】

先鋒	小林 紘盛	内股で負け
次鋒	加賀谷 涼太	反則負け
中堅	佐藤 光紀	引き分け
副将	豊巻 太陽	上四方固で負け
大将	藤原 珠樹哉	合せ技で負け



母校現校舎全景